

日本学術会議・心の先端研究と心理学専門教育分科会主催
公開シンポジウム

「心の先端研究への期待」

とき **2011年2月19日(土) 13時～18時10分**

ところ **京都大学稲盛財団記念館**
(川端近衛東南角、3階大会議室)

プログラム



今回のシンポジウムの様子を UStream を利用してリアルタイムで映像配信いたします。
URL <http://www.ustream.tv/channel/wish-symposium-2011>

13:00 開会の辞・趣旨説明 松沢哲郎 分科会委員長

A 脳・ゲノムの先端研究 (司会:西田眞也)

13:10-13:30 定藤規弘(国立生理学研究所)「社会性の脳神経基盤解明を目指して」

13:30-13:50 郷 康広(京都大学)「ヒトとチンパンジーの比較ゲノム~ゲノムでこころはわかるのか?」

B 若手心理学者による研究報告と先端研究への展望 (司会:西田眞也)

13:50-14:10 浅井智久(千葉大学)「なぜ自己行為のフィードバックは弱く感じられるのか」

14:10-14:30 足立幾磨(京都大学)「アカゲザルにおける社会的対象認知」

14:30-14:50 小泉 愛(東京大学、NTT)「遺伝子多型と情動の働き」

休憩 14:50-15:10

C 心理学先端研究の現在と未来 (司会:吉川左紀子)

15:10-15:30 杉田陽一(産業技術総合研究所)「運動知覚における視聴覚情報の統合」

15:30-15:50 多賀巖太郎(東京大学)「発達脳科学の現在」

15:50-16:10 積山 薫(熊本大学)「身体図式の可塑性と生涯発達」

16:10-16:30 山本淳一(慶応義塾大学)「発達支援の最先端:心理学はどのように貢献しているか」

16:30-16:50 亀田達也(北海道大学)「群れ行動と集合知(仮)」

休憩 16:50-17:10

D 討論会 WISH への期待 (司会:松沢哲郎)

17:10-18:10 山岸俊男(北海道大学)、内田伸子(お茶の水女子大学)、
長谷川寿一(東京大学)、渡邊正孝(東京都神経科学総合研究所)、
渡邊茂(慶応義塾大学)、坂上雅道(玉川大学)

18:10 閉会の辞 吉川左紀子 分科会副委員長

お問い合わせ: hq@kokoro-japan.org

日本学術会議・心の先端研究と心理学専門教育分科会HP: <http://www.kokoro-japan.org/>

